

「サッカースタジアムについて意見を聴く会」各委員の意見

区 分		魅力あるサッカー場の機能・仕様など	スタジアムの多機能化	中央公園広場への導入機能・施設など	その他意見
学識経験者	桂田委員	● すべての観客席を覆う屋根の設置 ● 全ての観客席にクッションを付ける ● 観戦中の臨場感を盛り上げるための巨大（センター、リボン）ビジョンの整備（横幅 80 メートルのセンタービジョンを設置しようとしている北海道ボールパークを上回る大きさのビジョン） ● 中央公園内と統一した案内サインの充実 ● 1 階レベルでの VIP ルーム・ラウンジの整備 ● 高級感を生み出す配色 ● ストレスを感じないネット接続環境の整備 ● 幅広いコンコース、細やかで数多い出入口ゲートの設置 ● ICT を活用した入出場手続時間の短縮化 ● コンコースから上層階に昇り降りするためのエスカレーターの整備 ● 数多いトイレの設置	● コンコースでの ATM 設置 ● 高級感を生み出す配色 ● 試合の無い日にも、日常生活で訪れるような施設の設置（例：常設のグッズショップ、レストラン・カフェなどの飲食施設、生鮮食料品スーパー、保育園・幼稚園、カンファレンス・コンベンション施設、図書館や市役所窓口・スポーツ課といった公共機能、ランニングステーションなど） ● 中央公園内と統一した案内サインの充実	● スタジアムから相生通りなどの周辺主要道路に出るまでの（雨に濡れないようにするための対応としての）通路屋根の設置。 ● 試合の無い日にも訪れられるような施設の設置 ● スタジアムと統一した案内サインの充実 ● サイクリング拠点（マツダスタジアムから中央公園までが自転車でスムーズに行けるようにし、日本を代表するサイクリングルートにしたい。） ● バーベキュー場（洗い場、トイレも） ● 綺麗で数が多いトイレの設置 ● 何よりも、ハードに偏らない緑地空間の充実 ● 木陰での数多いベンチ（腰掛けスペース）の充実	○ プロスポーツ観戦文化が根付いている広島の場合、プロスポーツ事業に配慮した事業者選定の方法やスキームがあってもよいのではないか。 ○ 都市公園法の「公園の便益施設等」の「等」の部分の柔軟な運用について議論いただきたい。 ○ 民間企業にアイデアを求める際に、民間企業側に法令遵守の意識があるかを事前に精査したほうがよい。 ● 整備や運営事業者選定にあたっては法令・コンプライアンスを遵守している事業者を選定することを意識する。 ● スタジアムのブランド形成に大きく寄与するプロスポーツクラブが、スタジアム整備運営に関与出来るスキームの構築 ● スタジアム内、中央公園内と連動した案内サインの充実（案内サイン通り歩けば、相生通り、紙屋町の地下道、新白島駅やひろしま美術館からスタジアムまでスムーズに行けるようにする。外国人にも分かりやすい案内サインとして欲しい。）
	原田委員	● サッカーにとどまらず、マルチスポーツが楽しめる仕組みとして、ハイブリッド芝の導入し、ラグビーの試合も可能とする。 ● 京都スタジアムのように、サッカー場ではなく、フットボール場という呼び名もよい。	○ フレンチを作れる厨房やビールを醸造するブルワリー機能 ○ レストランを日常的に開放し、ビジネスラウンジ、ホスピタリティラウンジのフード&ビバレッジの拠点とする。 ○ 会議室の貸し出し、大学の講義や小学校の授業での活用 ● 外に向けたスタジアム内のカフェレストランは重要であり、特に試合の高額チケットに付随するホスピタリティラウンジでの飲食提供には、厨房が不可欠である。 ● 試合のない日は一般市民に、試合の日はホスピタリティのゲストに向けた飲食提供が可能となる ● 設計段階では、スタジアム建設ではなく、集客施設の建設というコンセプトを念頭に置くことで、レストランに付随するスタジアム、会議室に付随するスタジアム、保育施設や高齢者施設に付随するスタジアムという発想が生まれる。	● 広島市民のアクティブなライフスタイルを促進する仕組みが必要である。歩道、パスウェイ、散歩道、自転車専用道など、中央公園と他のエリアを結ぶ動線の整備が必要である。ヨーロッパで進む「アクティブ・シティ」の考えを取り入れてはどうか。 ● 都市公園法の改正で大きめの商業施設を取り込むことが可能になったので、新しい商業エリアを創るぐらいのスケール感のある開発を望む。	○ 運営方法としては、コンセッション方式で長期の運営を委ねることが考えられる。 ● 公民連携の視点から、事業者プロポーザル方式でアイデアを募集する方式を勧める。 ● 中央公園のエリアごとに命名権を設定して、その企業にイベント開催など権利をアクティベートしてもらう方法なども議論する価値はある。 ● スタジアムの運営に関しては、サンフレッチェ広島がつくる一般社団法人のような組織と、メンテナンス業者、新聞社や広告代理店などが JV を組むことが理想である。 ● 隣接の市営住宅の活性化に関しては、大阪の泉北ニュータウンで成功した「ニコイチデザイナーズ住宅化」という狭い団地サイズの住居を 2 つ合わせ、デザイン重視の新しい居住空間をつくる手法があり、スタジアム近くのおしゃれなデザイナーズ住宅は、住民構成に変化をもたらす。

○：第 1 回会議時の意見 ●：追加提出意見

区 分		魅力あるサッカー場としての機能・仕様	スタジアムの多機能化	中央公園広場への導入機能・施設	その他意見
学識経験者	藤口委員	● サッカー競技場ではなく、サッカースタジアムであることを共通認識として理解した上で、サッカー場として、プレーヤーにとってプレーしやすい場所であることがベースである。 ● 観客にとって居心地の良いスペース、心が躍る、楽しい空間が必要である。（トイレの数、売店の位置、音響設備等） ● 特に日本のスタジアムやアリーナで問題なのは音響設備である。 ● 良いプレーを引き出す為に最も重要なのがピッチ（フィールド）の芝生である。人工芝を少し加えたハイブリッド芝も登場している。 ● ロッカールームやウォーミングアップスペース、バスルームなどプレーヤーが気持ちよくプレーするために必要な機能。 ● サッカーは雨が降っても試合をするので、雨対策はマストである。観客席の屋根はもちろん、コンコースや滑りにくい階段を整備。 ● できれば、屋根には太陽光パネル発電機があれば最高である。	○ 非常食の備蓄や蓄電器等を備えた避難場所として有効に使用できる防災センターとしての機能。 ● 日常から老若男女、小さな子供から高齢者までが集えるスペース、そして平和都市広島には多くの外国人も来訪するので、国際交流の場所でもある、コミュニティセンターとしての機能。 ● そのためには、カフェやレストランはもちろん、近隣企業の研修や、商店連合会の会議、寄り合い等ができるスペース、カンファレンスルームも必要である。 ● スポーツジム（サウナ・風呂付）、フットサルコート（ハンドボールもできる）、バスケットボール（3 x 3）コート、自転車のマナー教室（特に子供向け）が開催できるバイシクルセンターの設置をなど、スポーツセンターとしての機能 ● 加えて、スポーツミュージアムはマストである。スタジアムツアーを実施し、終着点をミュージアムとショップにするとよい。 ● コンコースではバザーやミニイベントができるスペースづくりが必要である。	● 日常子供たちが遊べる、体を動かすことができるサブグラウンド（人工芝でもよい） ● 駐車場はマストである。 ● 旧市民球場跡地の仕様との関係性もあり、エリア全体で考えていかなければならない。	● スタジアムは街のシンボルであること、スタジアム整備は街づくりの一環であることを理解し、①スポーツセンター、②コミュニティセンター、③防災センターという3つのセンター機能を明確にして考えなければならない。 ● 街づくりの一環として、広島らしさを出しながら、新たな広島を世界に向けて発信するよいタイミングであると思う。 ● 景観も大事であり、広島城との関係性も重視しなければならない。 ● 一番大きな問題は交通対策である。快適性は大事だが、地下道や歩道橋などの安全性が最重要課題である。 ● 本通り商店街やシャレオとの連携も必要である。スタジアムの一角に、ショールーム的なスペースの設置が考えられる。
	北吉委員	● 試合の無い日でも、様々なイベントが開催され、市民、観光客が楽しめる機能を盛り込むことが望まれる ① ピッチを利用した屋外コンサートの開催 ② ピッチと観客席を利用した式典、表彰式等の開催 ③ ピッチを利用した野外パーティの実施 など	● MICEの推進において、多様な会議施設の整備が求められており、広島においては、特に大規模会議の開催が可能な施設・機能の強化が喫緊の課題である。この解決策として、本スタジアムにおいても、その一翼を担う機能を整備することが望まれる ① 観客席下のスペースを会議開催が可能な仕様とし、サッカースタジアムでの会議開催という珍しさをアピールできるものとする ② ここでの単体での会議開催、紙屋町ゾーン利用の大規模会議のサブ的な会議開催が可能なものとするため、3～4部屋で200名程度は利用可能な規模が最低限必要 ③ レストランは、コンベンションのユニークベニュー会場として利用できるよう工夫を施す。フィールドと広島城が見えるような仕様であれば申し分ない ● 全球団のグッズが購入できる販売ショップや多彩な料理を提供するレストラン群 など	● 清潔で快適なトイレ（維持管理費の捻出方法として有料化も検討）	● 平和記念公園を訪れる観光客が、スタジアムや広島城、中心部商店街などを回遊するためには、これらの拠点をストレスなく回遊できる歩行ルートを整備することが必要である。 ① 54号線、城南通りの「歩行空間の確保」として、デッキ（動く歩道が併設できれば最良）を整備すること ② 新白島駅から紙屋町界限を結ぶ二次交通の充実を図ること ● 平和記念公園からの動線確保の観点からも、旧市民球場跡地及び河岸緑地を賑わいの空間として活用することが必要である。 ① 旧市民球場跡地から河岸緑地を一体的なスペースとして、低層のレストランやショップなどが川に向かって立ち並ぶ場所とする ② 河岸緑地は、定期的なマルシェの開催などにより、広島の農産物や海産物を提供する市民や観光客で賑わう魅力ある空間とする ● ピースクルなど自転車でのアプローチが可能なルート整備の検討。

○：第1回会議時の意見 ●：追加提出意見

区 分		魅力あるサッカー場の機能・仕様など	スタジアムの多機能化	中央公園広場への導入機能・施設など	その他意見
経済・観光	下村委員	○ 寝そべって観られる席やレストランで食事をしながら観られる席など、いろんな観戦の仕方ができる造りとしてほしい。 ● 人の目線に優しい周囲の自然環境と調和したデザインを心がける。 ● できるだけ地産地消、地元産自然素材の使用を取り入れる。 ● 閉じられた構造物という印象でなく、できるだけ周囲にオープンでアクセスブルなデザイン。	● 例えば、旧市民球場跡地の機能を「にぎわい」とするなら、スタジアムは文化・スポーツや健康志向スポーツジム、都会の中のアウトドアライフに対応したサービス・施設、人生の慶事、ハレの場を体験できるサービスや施設、MICE に対応する施設、青少年の文化サークル施設、海外からのアーティストや文化活動家、平和活動家が作業できるスタジオ、会議室、パブリックな公民館（中央公民館の機能）、子育て支援のサービス・拠点等。 ● 災害時に対応する避難所及び物資集積基地、ヘリポート、災害対策指令センター等の機能。 ● コンコース部分は、旧市民球場跡地からの連続した参道空間ととらえ、広島市中央部のにぎわいゾーンとの回遊を促進する機能を最重要とする。	● 公園西部は、森の空間や木陰を提供し人々の滞留を誘い、バーベキューを楽しむ市民も多く、こどもの遊び場（冒険遊び場「基町自遊ひろば」など）も展開しており、この環境を保全すべきである。 ● 可能であれば公園西側の道路を付け替えることによって、公園西部（森）と河岸部親水部を連続したエリアとして、親自然的に一体的になだらかに整備する。岸边は船交通ステーションとして瀬戸内の島嶼部また広島駅や中山間地へと繋がる。なお、このエリアでは人工的で大がかりな施設や店舗は排除し、周囲の自然と調和した、カフェと合体した SUP 等河川スポーツ、また、こどもの遊び場のための道具倉庫も兼ねた保護者が集うクラブハウスを配置する。 ● オープンな親水空間とともに、人々が滞在できる木陰空間を確保すべきである。	○ 旧市民球場跡地、中央公園広場、広島城などの魅力や周辺の回遊性を向上させることで、中央部が活性化できると思う。 ● 「にぎわい」とともに「憩い」の空間を意識すること、双方において質の違った滞留やアクティビティーを誘うような環境・施設を整備すること。 ● 都心の貴重なオープンスペースを巨大な施設で埋めるからには、その補完となる周辺の緑環境や親水環境を整える。 ● 広島が世界に発信すべきシンボル性を意識し、建造物と取り巻く環境を形成すること。またそこで行われるソフト、アクティビティーやコンテンツの展開についても同様に不断の問いかけと追求を通して実現する。
	辻委員	● 国際基準・グローバルスタンダード（国際的イベント誘致可能な基準）及びユニバーサルスタンダード（バリアフリー）を満たすこと。 ● サッカースタジアムはクラス1の3万人規模を予定しているが、それで国際的な試合を誘致できるのか。 ● スタジアムは、サッカーの試合が中心となるが年30試合程度ではスタジアムとしての採算が取れないと聞いているので、ラグビー、FISE 等の他のスポーツ、コンサートなど多目的に使用できる仕様にしてほしい。	● 場外イベントで移動式キッチンカーなどが使用できる電源・給排水設備等の設置 ● 追加の仮設トイレが設置できる仕様 ● コンコースやスタンド下には、ゲームのない日も入場でき、飲食が楽しめるようにする。（入場料を取って見せる部分と、入場料無しでも見学やレストランに行けるような設計とする） ● 広島市は「国際平和文化都市」、また「グローバルMICE 強化都市」に指定されているので、国際会議や国際的なイベントにも使用可能な仕様としてほしい。	● 広島城のバス駐車場60台の代替箇所を中央公園の一部（西側）に設置が必要。平時は予約制観光バス駐車場のスペースと利用し、非常時は緊急車両等の駐車スペースとして確保してほしい。 ● 従来通りの災害時の避難エリアの確保。 ● 公園全体の夜間の安全対策（常夜灯の設置や交番の設置） ● 基町アパートの活性化のためのインターナショナルなカフェやレストランの誘致	○ サッカーの試合日など一時に何万人という人が移動する際の安全性を確保してほしい。 ○ 基町地区について、居住する多くの外国人の言語や生活スタイルなどに配慮するとともに、この地域に若者を増やして活性化させてほしい。 ● 騒音・交通問題への十分な対策と配慮が必要であると同時に、若者が集まり、中央公園及び周辺が活性化する、その中心的な役割となるべきスタジアム像。 ● 回遊性を向上させるため、スタジアム建設に合わせ、広島城やグリーンアリーナ、平和公園など他の施設やゾーンとの機能調整と連携が必要。 ● コンセプトとして、「広島城の見えるまちなかスタジアム」、「広島城から見えるまちなかスタジアム」としてほしい。

○：第1回会議時の意見 ●：追加提出意見

区 分		魅力あるサッカー場の機能・仕様など	スタジアムの多機能化	中央公園広場への導入機能・施設など	その他意見
経済・観光	福村委員		○ サッカーファン以外の方にも足を運んでいただくために、「ナイトタイムエコノミー」にまつわる機能を整備してはどうか。夜の世界を楽しんでいただければ、宿泊につながると思う。		○ サッカースタジアムへの動線と街中への回遊性について、歩行者が安全にストレスなく移動するためには、複数の動線を用意し選択できることが必要である。ペDESTリアンデッキ等を整備した上で、スタジアムと都心部をループするような動線がよいと考えている。 ○ スタジアムの運営については、中央公園広場だけではなく、中央公園・都心部一体のエリアマネジメントとして、継続的・常態的にエリアの賑わいを創出することができる状態としていくべきである。 ○ 「サンフレッチェコイン」のようなICTの取組や、5G等の最新のテクノロジーなども取り入れたエリアマネジメントの取組を考えていく必要がある。
	スポーツ 佐藤委員	○ Jリーグが掲げる「理想のスタジアム」の4要件である①アクセスが優れている、②すべての観客席が屋根で覆われている、③複数のビジネスラウンジやスカイボックス、大容量高速通信設備(高密度Wi-Fiなど)を備えている、④フットボールスタジアムであるという要件を満たすこと。 ○ Jリーグ規約に定める「スタジアム基準」のJ1必須条件、及びAFCチャンピオンズリーグ(ACL)の開催条件は必ず満たすこと。 ● スタンドの傾斜、ピッチと観客席との距離など、劇場としての臨場感も大切である。また雨が観客席に降りこまないよう、屋根は低くて真っすぐな形状が望ましい。 ● ピッチの芝の張替えや活用に備えて、幅6m、高さ4.5mの搬入口を2箇所確保すること ● ラウンジの厨房やバックヤードは充実させておくべき。 ● エスカレーター動線はとても機能的である。 ● スプリンクラーは、インフィールド自動散水システムが効果的である。 ● チーム更衣室に浴室があると、非常時の温浴施設としても活用が可能である。	○ 行政サービスや医療・福祉・教育など、そこに行けば日々必要なことが満たせる真の「コミュニティー・ハブ」を兼ね備えた施設にすべき。 ● スタジアムに「通勤する」、「学びに行く」「買い物に行く」といった365日、人々が足を運ぶ機能。 ● コンサート対応機能や過剰な複合施設は、インシヤルコストが膨大化するため、吟味することが肝要である。コンサート利用は住民対策ができるなら可能性はゼロではないが、中央公園広場での騒音対策は難しいと考えている。 ● スタジアム以外の中央公園広場の利用者が必要とする機能。(更衣室、シャワー室、避雷設備等) ● コンコースは、緊急車両やケータリングカーが走行、駐車できる幅員があると機能的である。 ● 避難所、備蓄庫、自家発電、給水サービス、緊急物資輸送の中継拠点や広域支援部隊のベースキャンプ機能といった防災拠点としての機能。 ● 平和記念式典時のテントやイスなどの一部を、屋根やラウンジ、トイレ、大型映像装置のあるスタジアムに移すことも考えられるのではないか。 ● 試合のない日も人々が訪れる見学ツアー、ミュージアム、メガストア	● スタジアムと同じ天然芝の圃場(ナーセリー)を公園内に設けて、痛んだらすぐに芝を張り替えられるようにしておく、スタジアムのピッチをフルに稼働させることができる。天然芝のサブグラウンドは同じ役目を果たせるが、圃場を別に設けた方が作業はしやすい。 ● 夜間照明付きのフットサルコートは、全国的に稼働率が高い。 ● 本川のリバーサイドも含めて、お洒落で季節感のある公園にすると若者の利用が期待できる。 ● アンケートで希望の多かったレストランやカフェも、「行く価値がある」テナントであることが大事である。 ● 公園広場の利活用に、電気(電源)、水道、搬入動線、通信環境は欠かせない。駐車場や駐輪場も一定数は必要である。	○ アクセス道路、園内の歩道を含め、夜でもスタジアムの外周を明るく、安心安全を確保するため、LED街灯や高輝度なデジタルサイネージ、ライトアップ等を充実させることが必要である。 ● スタジアム規模に応じたアクセス道路やコンコースの幅員、バリアフリー環境も、大規模集客施設の安全上、とても重要なポイントである。 ● 広島市内は海外からの訪問客が多いため、外国語サインの充実が必要である。 ● お城とスタジアムが隣接するスタジアムは国内に例がないため、バックスタンドのコンコースからの景観など、お城とセットにしてのエリア設計が必要である。 ● 市外からの来場者に向けて、広島駅からの明快なアクセス(紙屋町西、広島バスセンターから)設定と告知を希望する。 ● 参考にすべきは「空港」。公共交通機関でアクセスでき、バリアフリー、セキュリティ、ご当地グルメの飲食店やお土産店、ラウンジ、飛行機を利用しない人向けの見学デッキ等が充実。外国人も迷わないサイネージ等、ヒントが詰まっている。

○：第1回会議時の意見 ●：追加提出意見

区 分		魅力あるサッカー場の機能・仕様など	スタジアムの多機能化	中央公園広場への導入機能・施設など	その他意見
スポーツ	野坂委員	● 清潔で広いトイレ、広い通路、死角のない観客席の整備 ● 選手のスタジアム到着時、或いは試合後に選手とファンが短時間でも触れ合えるエリアの設置 ● 観客の入退場時のスムーズな動線の確保 ● 子どもたちの集客に結び付くイベントづくりや平和都市ヒロシマに相応しいイベントの定期的な開催	● 中央公園がビジネス街に近いという立地を踏まえ、ビジネスパーソンを主な対象として、スポーツを気軽に楽しめる機能を持たせる。これは企業の「健康経営」の推進にも寄与するものである。 ① スタジアムのコンコースを活用した全天候型ランニング（ウォーキング）コースの整備 ② ランニング（ウォーキング）ステーション（カフェ機能を併設）の整備 ・ ロッカーやシャワールームを備え、シューズやウェアもレンタルできるランニングステーションの整備 ・ ランニング後は管理栄養士による栄養バランスのとれた食事、プロテイン飲料、グリーンスムージー等を提供するカフェや低酸素トレーニングルームを併設 ● 各競技のトップ選手からジュニア選手が一堂に集まり、強化練習やトップ選手のプレーを手本にしたジュニア選手の育成・指導を行うとともに、障害者スポーツ普及・振興を図るための体育施設の整備 ● サッカーミュージアムの整備	● 市民に憩いの場を提供する芝生広場として整備 ● イベントは、旧市民球場跡地で開催しているプログラムとの調整が必要	○ 都市公園法の制約を受けるために、事業者が出店したいと思えないような場所であれば誰も手を挙げないので、柔軟な運用ができるよう国と協議していただきたい。 ● 防災機能・避難場所機能の充実
	森崎(和)委員	○ 選手が多く時間を過ごすロッカー、室内練習場、グラウンドといった設備の充実と、負担のない動線作りが重要 ○ 選手がホームスタジアムと感じられ、絶対勝つと感じられる装飾や雰囲気作り ○ 行き届いた芝のメンテナンス ○ ピッチと距離の近いスタンドの整備 ○ 歴史ある広島ของサッカーヒストリーを感じられるミュージアム ● 声、手拍子含めた応援が反響する構造仕様 ● サッカースタジアムだが、コンサートのような演出が出来るような設備 ● スタジアムカメラを活用した演出設備	● 試合日、試合日外問わず人が集えるカフェ／スポーツパブ ● テンポラリーに活用できる出展スペース（飲食含む） ● 子どもが安全に楽しめるキッズスペース（椅子等の親の監視環境の整備 ● 試合のみならず、避難時にも利活用できる適切なサイネージ設置 ● 女性用トイレは、拠点/個数、共に増設（着替えが出来るスペースも必要）	● フットサルコート（スタジアムの真横にあることで子供たちの夢を育て、健康増進やコミュニケーション不足の解消にも寄与できるものと考える。） ● 子供から大人まで楽しめる大型遊具整備	● スタジアム&公園が街中のシンボルとして活用されること、日常から夢を与えることを目的にライティング等を活用した視覚的装飾も必要であると考える。 ● 利用者に安らぎを与える、子供でも楽しんでいただける水場整備

○：第1回会議時の意見 ●：追加提出意見

区 分		魅力あるサッカー場の機能・仕様など	スタジアムの多機能化	中央公園広場への導入機能・施設など	その他意見
スポーツ 福祉	森崎(浩)委員	● デザイン性のあるコンセプト(カラー、ヴィジュアル) ● ビジネスマッチング、コミュニケーションの充実を目的としたラウンジ整備（試合日以外は、貸出等にて活用） ● 発達障害の方でも安心して観戦できるセンサリールームの設置 【サポーターからの意見】 ● 入場口からスタンドまでユニバーサルフリー（子供連れ・身障者・ご年配に優しい階段の少ない環境） ● 入場待機列の場所にも屋根があった方が優しいと思う ● コンコースは、1周出来るようにしてほしい ● ポップアップで活用できるように車輛がコンコースにアクセスできるスロープ ● 目的別に活用できる席状を検討してほしい ● 鉄板付きでお好み焼きを焼き、食べながら観戦できる席	● 親が子供を安心して預けられる託児所 ● 年配者、ハンディキャップを持っている観戦者を配慮したバリアフリー観戦スペース ● 試合のみならず、避難時にも利活用できる適切なサイネージ設置 ● 女性用トイレは、拠点/個数、共に増設（着替えが出来るスペースも必要） 【サポーターからの意見】 ● 試合がない日でも楽しむことが出来る存在価値（ランニングロード、温浴施設など）	● フットサルコート（スタジアムの真横にあることで子供たちの夢を育て、健康増進やコミュニケーション不足の解消にも寄与できるものと考える。） ● 公園部含めた拠点となるステーション(更衣室・シャワー)整備（ランニング等） ● 子供から大人まで楽しめる大型遊具整備	● スタジアム&公園が街中のシンボルとして活用されること、日常から夢を与えることを目的にライティング等を活用した視覚的装飾も必要であると考える。 ● 利用者に安らぎを与える、子供でも楽しんでいただける水場整備 【サポーターからの意見】 ● 河岸エリアも活用した空間づくり ● 寄附者の芳名版は、公園利用者も閲覧できるようにしてほしい
	高橋委員	● コンセプトは「楽しく役に立つ施設」として、何度でもたくさん利用したくなる施設とする。 ● 国際平和都市広島都心に建設されるスタジアムとして、日本のみでなく世界に誇れる機能的で使いやすい特色のあるスタジアム建設を期待する ● 高齢化社会の世界最前線を歩みつつある日本が、規模ではなくその内容において世界のお手本になるような、高齢者や障害者等の社会的弱者にも「優しい施設」で、細部まで配慮が行き届いた広島市民・県民自慢のスタジアムにする。 ①トイレは広く・多く、②エレベーターは、車椅子も乗れるように広く・多く、③可能な限りのバリアフリー化、④トイレの中も含めて各所に手摺を設置、⑤移動しやすい動線、⑥授乳室・ベビーセンター、⑦喫煙所、⑧サッカー見学できない子供達等の招待席 ● 天候に左右されにくいスタジアムとするために、少なくとも観客席は屋根付きとする。	● 多くの人が利用したくなるような広島スタジアム自慢のグルメ街 ● 試合や催し物がない時にも利用したくなるような特色のあるカフェや飲食スペース（大型バスを含め駐車場利用可能とする。） ● スポーツジム、各種教室、会議室、談話室、災害避難施設 ● サンフレッチェ広島を中心とした広島自慢のスポーツの歴史・成績紹介や展示スペース	● 試合や催し物がない時に施設利用者が利用できる駐車場 ● 家族で利用できる大型遊具、芝生広場 ● 基町環境護岸と一体的に利用できるよう改良する。広島市の河岸は、近年整備が進んで大変美しいものになっており、中央公園から広島スタジアム・広島城へと続くこの地域こそ、世界に誇れる親水河岸として、多くの人々が憩える魅力的なスペースにする。	● 都心部との一体的利用を促進させるために、人の回遊に配慮し、動線部分の改良を図る。 ● 広島駅方面・紙屋町方面への地下通路を安全で楽しいものに改良する。（広く、明るく、清潔なエレベーターや通路やスロープ） ● スタジアム周辺の公共バス便及びバス停の見直し ● 旧広島市民球場跡地との連動性（動線）配慮

○：第1回会議時の意見 ●：追加提出意見

